



安平町のいま



追分地区 菜の花畑を巡るフットパス

追分地区では今の時期、栽培している菜の花があちこちで咲き、美しく壮大な景色を見ることができます。この号が発行されるタイミングでも、気象条件次第にはなりますが、まだ咲いているかもしれませんね。

町内で追分地区を中心に不定期で「フットパス」を行っている「あびらフットパスクラブ」の方々とともに菜の花畑を目指し、約12kmを歩いてきました。「フットパス」とはイギリス発祥で『森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径【Path】』のこと。

メンバーの多くは移住者。同じく移住者である私もメンバーに加えていただき、初年度は安平町での生活のことなど学ぶ場にもなっていました。

「あびらフットパスクラブ」の皆さんは、道の駅あびらD51ステーションに今年初めて開設された「菜の花案内所」や毎年開催されているあびら観光協会主催のフットパス（年2回）、「JRヘルシーウォーキング」のボランティアスタッフとしてお手伝いされています。

【取材：前地域おこし協力隊・木下】

広報あびら 編集者コラム

総務課情報グループ 小林 誠



ゴールデンウィークは道の駅を取材しに行き、明けてからはアサヒメロンの初出荷へ。そして、町内の農風景や菜の花と。広報あびら6月号の発行準備期間は、決して多い訳ではないのですが、久しぶりにこんなに取材で外に出ることができました。取材に出ると、いろいろな方の声を聞くことができました。お久しぶりの方に会えたり楽しいことが多い。「最近見なかつたね」なんて声をかけてもらえたりもしたので、すでに知ってもらっている方には忘れられないように、まだ知らない方には認知してもらえよう。いろいろな取材にまた行けると良いな〜と思ったのでした。